

科目名	日本語	英文表記	Japanese	2014.3.10作成			
科目コード	3014						
教員名:玉城あゆみ 技術職員名:				作成			
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科		3年	選	履修	2単位	講義	通年
科目目標	日本語の基礎を固め、学んだ文法項目や表現を統合して論理的に思考しながら理解・発信する力を高める。						
総合評価	前期・後期評価: 定期試験(中間・期末)の平均の定期試験(80%)+課題(20%) 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	日本語による論文・記事の構成を理解し、論理的に考察することができる。		⇒	論文・記事を正確に読解し、論理的に考察することができるか、定期試験および演習等の課題で評価する。		50%
	②	日本語能力試験N2相当の語彙・表現の知識を増やす		⇒	高度な語彙・表現が身についているか、定期試験および演習等の課題で評価する。		50%
	③						
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	○	◎		○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		80	0	0	20	100	
基礎的理解		60				60	
応用力(実践・専門・融合)		20				20	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					20	20	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	様々な資料の速読や精読とそれに関するディスカッションを通して、日本語を媒体とする多様な学習活動に必要なコミュニケーション能力を育成する。 授業では毎回、短い速読練習も行う。また、日本語能力試験N2レベルの語彙、ニュースの聞き取りなどの課題も課してその提出状況も評価する。						
教科書・教材	『日本語能力試験対策・日本語総まとめN2(語彙/漢字)』佐々木仁子他著(アスク出版) 『中・上級者のための速読の日本語 第2版』(The Japan Times) 『大学・大学院留学生の日本語①読解編/③論文読解編』アカデミック・ジャパニーズ研究会編著(アルク)						

**授業計画**

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	コースインフォメーション・自己紹介	2	履修内容概観・日本語による自己紹介	演習課題	
2	読解演習	2	第1課「言葉の役割」速読①	演習課題	
3	読解演習	2	第2課「イルカと超音波」速読②	演習課題	
4	読解演習	2	第3課「地図の分類」速読③	演習課題	
5	読解演習	2	第4課「睡眠時間ー短眠と長眠」速読④	演習課題	
6	読解演習	2	第5課「日時計」速読⑤	演習課題	
7	応用練習	2	以上の総復習	総復習	
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	2	以上の習熟度を評価	総復習	
9	読解演習	2	第6課「研究者の二つのタイプ」速読⑥	演習課題	
10	読解演習	2	第7課「地球温暖化」速読⑦	演習課題	
11	読解演習	2	第8課「風呂場の戸」速読⑧	演習課題	
12	読解演習	2	第9課「手で数を表す」速読⑨	演習課題	
13	読解演習	2	第10課「茶はどのようにして伝わったか」速読⑩	演習課題	
14	読解演習	2	第11課「『夕』と『ハタケ』」速読⑪	演習課題	
15	応用練習	2	以上の総復習	総復習	
期末	期末試験	[2]	以上の習熟度を評価		
16	読解演習	2	第12課「カラスの」自動車利用行動」速読⑫	演習課題	
17	読解演習	2	第12課「カラスの」自動車利用行動」速読⑬	演習課題	
18	読解演習	2	第13課「台湾南部の客家社会についてのー考察」速読⑭	演習課題	
19	読解演習	2	第13課「台湾南部の客家社会についてのー考察」速読⑮	演習課題	
20	読解演習	2	第14課「人間とロボットの協調動作に関する研究」速読⑯	演習課題	
21	読解演習	2	第14課「人間とロボットの協調動作に関する研究」速読⑰	演習課題	
22	応用練習	2	以上の総復習	総復習	
23	後期中間試験(行事予定で週変更可)	2	以上の習熟度を評価	総復習	
24	読解演習	2	論文読解編 第1課「異文化適応」速読⑱	演習課題	
25	読解演習	2	第1課「異文化適応」速読⑲	演習課題	
26	読解演習	2	第1課「異文化適応」速読⑳	演習課題	
27	読解演習	2	第2課「いじめ」速読21	演習課題	
28	読解演習	2	第2課「いじめ」速読22	演習課題	
29	読解演習	2	第2課「いじめ」速読23	演習課題	
30	応用練習	2	以上の総復習	総復習	
期末	期末試験	[2]	以上の習熟度を評価		
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	語彙・表現文法・読解などの演習課題を解く。			各1時間×24回	
②	既習項目の復習をし、与えられたテーマに沿った応用練習を行う。			各1時間×6回	
③					
<b>備考欄</b>					